

# 奥州市立 前沢中学校 まなびフェスト2021

通いたい学校 通わせたい学校 勤めたい学校

まなびフェスト項目 その1

## 地域

### 地域貢献活動の充実、地域連携の推

地域貢献活動の充実と地域連携により、生徒の主体性と自己有用感の向上を図る

生徒アンケート

80%

60%

① 生徒アンケート項目「日々の地域貢献活動として、『挨拶で地域の人へ元気を届ける』ことができたか」で肯定的回答→80%以上 (R3)

② 生徒アンケート項目「地域と関わる取組や、ボランティア活動に参加している」で積極肯定 38.0% (R2) →60%以上 (R3)

【関連キーワード】 地域貢献、ボランティア、主体性、見通し、自己有用感、自己選択



まなびフェスト項目 その2

## 見通

### 非認知能力を育成する習慣づくり

日々の生活に見通しをもち、振り返りながら目標にむかう習慣を身につけるツールとして導入した「フォーサイト手帳」の更なる活用を図る

生徒アンケート

40%

保護者アンケート

25%

① 生徒アンケート項目「自分で1週間の予定を立てて生活・勉強している」で積極肯定 34.5% (R2) →40%以上 (R3)

② 保護者アンケート項目「子どもは自分の時間を計画的に使っている」で積極肯定 14.7% (R2) →25%以上 (R3)

【関連キーワード】 見通し、振り返り、スケジュール管理、目標設定、非認知能力、メタ認知能力、自己調整力、バランスのとれた学習と部活動



まなびフェスト項目 その3

## 本物

### 本物に触れるカリキュラム

本物に触れて学ぶ授業を通して、学習意欲の喚起、将来の夢の刺激につなげる 教科、学年行事、全校各

1回

① 本物に触れながら学ぶ授業を各教科年1回は行う。

② 本物に触れさせ、一人ひとりの学習意欲の喚起、将来

の夢の刺激につながる機会（行事、総合等）各学年1回、全校1回は行う。

【関連キーワード】 キャリア教育、教科横断的カリキュラム、外部人材活用、キャリアパスポート



まなびフェスト項目 その4

## 評価

### 評価と発問の工夫、見通しをもった指導

適切な指導計画とともに、多様な評価と発問を工夫し、授業改善につなげる

活用型問題

2割

教員自己評価

80%

① 定期テスト問題の2割を活用型問題とする。

② 教員自己評価の項目「『考えさせる』『選択させる』

ための問いかけの工夫をしている」積極肯定で 73.3% (R2) →80%以上 (R3)

【関連キーワード】 考えさせる、選択させる、指導と評価の一体化、思考力、表現力、自己選択、多様な評価、見通し



まなびフェスト項目 その5

## 制御

### 情報モラル学習と情報端末のフィルタリング

GIGAスクールに対応した『情報モラル学習』を確実にし、情報端末のフィルタリングの推進を図る

各学年または学級

1回

保護者アンケート

50%

① 各学年または各学級、最低1回は、「情報モラル学習」を実施する

② 保護者アンケート項目「子どもが使う情報端末には、フィルタリングをかけている」で積極肯定 36% (R2) →50%以上 (R3)

③ 保護者アンケート項目「子どもが情報端末を使う際のルールを話し合っている」で積極肯定 39% (R2) →50%以上 (R3)

【関連キーワード】 情報端末、メディア接触、情報モラル、SNS、フィルタリング、生活習慣



『まなびフェスト』は重点項目に即した達成目標について、生徒の参加や家庭の協力・連携を図りながら達成を目指すものです！